

墨田区における地域福祉の推進とボランティア活動への参加促進を図るため、今年度で第9回目となる「すみだ地域福祉・ボランティアフォーラム」を、令和元年7月6日（土）に開催しました。

今年度は「つながる地域のボランティア ～心を伝えあえるまち～」をテーマとし、約200名の方にご参加いただきました。

## 1 講演会

### 「思いを伝える ～災害ボランティア活動の現場から～」

群馬県榛東村社会福祉協議会の高山弘毅氏を講師にお招きし、長年災害ボランティア活動に携わってこられた経験から、「思いを伝える」をテーマにお話をして頂きました。



## 2 分科会

### 「地域で共に生きていくために ～私にできること～」

#### (1) 障害のある方とのコミュニケーション

聴覚障害のある方などから、普段の生活の中で困っていることなどをお話しいただいた後、参加者の皆さんで意見交換を行いました。障害のある方とのコミュニケーションでは、時間をかけて丁寧な対応を心がけることが大切であるとのお話がありました。



(2) やさしい日本語がつなぐ多文化共生社会  
にほんご教室を通して外国人の支援を行っている  
方や、実際に日本で暮らす外国の方々からお話  
を頂いた後、いくつかのグループに分かれて、  
「文化や言葉の違いを超えて、みんなが暮らし  
やすい地域の工夫」について話し合いました。



(3) 地域福祉は伝えあう思いから  
自分がやってほしいことをグループの他の  
参加者に説明し、やってくれる方を募る  
「助け合い体験ゲーム」を通して、ご近所の  
助け合いを体験しました。お互いに助け合う  
ためには、普段からの近所づきあいが大切で  
あるなどの意見が聞かれました。



### 3 発表会

発表会では、それぞれの分科会で行った内容や参加者から出た意見などを発表していただきました。また最後に高山氏から講評があり、「この地域は自分のことと他人のこのことの間に入り込んでいく力が非常に強い地域だと感じた。これは大事な財産であり、大事に育ててほしい。」とのお話を頂きました。



☆ 詳細については9月上旬頃ホームページで公開します。